



小宮 幹事 松石 会長



浦和中ロータリークラブ

よいことのために手を取りあおう

今日の例会 Today's Regular Meetings

10月9日(木) 19:00~20:00

第1654例会

例会場:伊勢丹浦和店7階クローバルルーム

テーマ:外部卓話「米山記念奨学会について」

卓話者:米山記念奨学部門委員長 小川 和義 様
(鴻巣イブニングRC)

食 事:つきじ植むら

次回の例会 Next Regular Meetings

10月23日(木) 19:00~20:15

第1655例会

例会場:浦和コミセン 第13集会室

テーマ:オープン例会外部卓話

「株式市場の現状と東証の取組み」

卓話者:東京証券取引所 代表取締役社長 岩永 守 様

食 事:弁当

会長挨拶 松石 滋樹

皆さん、こんばんは。本日はお忙しい中、例会にご参加いただきありがとうございます。

そして本日は、ポリオ根絶について卓話をいただきます小林操バストガバナーをお迎えしております。小林バストガバナーには、ポリオに関する卓話を詳しくお話しいただけることと思います。私からは、その前置きとして、昨日参加しましたロータリー財団委員会のセミナーで尾見茂先生からお聞きした内容を振り返りつつ、ポリオ根絶をめぐる背景を少しご紹介させていただきます。

ポリオは、かつて世界中で流行し、多くの子どもたちを麻痺に苦しめました。しかしワクチンの普及により、1988年には35万件を超えていた患者数は、今日ではわずか数十件にまで減少しています。これはロータリーをはじめとする国際的な努力の大きな成果です。

しかし、ポリオは根絶可能なウィルスですが、完全な根絶はいまだ実現していません。残る常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国です。両国はいずれも険しい山岳地帯や広大な国境地帯を抱え、貧困や教育の不足、医療体制の脆弱さといった経済的課題に直面しています。加えて長年の治安不安が続き、住民が外部からの支援活動に強い警戒心を抱いていることも、ワクチン接種を妨げる要因となっています。

象徴的な出来事として、2011年に米CIAがビンラディン捜索のために「ワクチン接種キャンペーン」を偽装したことが挙げられます。この事件をきっかけに、現地住民の間で「予防接種は外国のスパイ活動の一環ではないか」との疑



念が広がり、ワクチン活動員が襲撃される事件すら発生しました。つまり、医学的な困難よりも、経済的・社会的な要因、人間同士の不信感が、ポリオ根絶を阻んでいるのです。

この点は、すでに根絶された天然痘との大きな違いです。天然痘は特効的なワクチンが存在し、冷戦下の米ソ両大国も協力して世界規模の撲滅キャンペーンを進めました。国際的な信頼関係と徹底した監視・隔離体制が機能したため、1980年に「人類が初めて根絶した感染症」として宣言できたのです。

私たちが取り組むポリオ根絶は、技術的には実現可能な目標でありながら、経済や社会情勢の壁に阻まれている難しい課題です。だからこそ、ロータリーが世界中のネットワークを活かし、地域社会の経済発展や人々の生活の安定にも寄与しながら活動が続けることが、今こそ必要とされています。

ちょうど10月は「地域社会の経済発展月間」です。地域社会の安定と経済の発展があってこそ、医療や教育も広まり、ポリオ根絶という人類的な目標にも近づくのだと強調したいと思います。

それでは、この後は小林操バストガバナーに、ポリオ根絶に関するロータリーの活動について、さらに詳しくご講演いただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



本日のお客様 国際ロータリー第2770地区パストガバナー 小林 操 様
【ポリオサバイバーとして ロータリアンとして】

幼少期の頃ポリオに感染して以降、今日まで70年にわたり左手に麻痺が残る小林パストガバナーより、ポリオの恐ろしさ・罹患させてしまった親の苦しみ、そしてポリオ根絶にチカラを尽くし続ける姿勢について卓話いただきました。罹患者だからこそその視点で話される姿勢に会員皆が真剣に耳を傾けるとともに根絶に向けての活動継続に十分過ぎる理解と共感があったものと振り返ります。

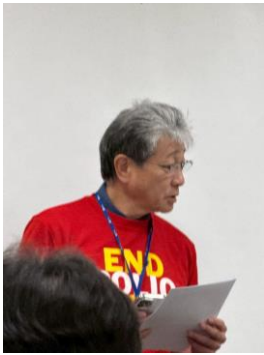


10月お誕生月のみなさん



1日：下重喜平会員 2日：石井佳代会員
24日：小谷野堅太郎会員

幹事報告 小宮泰二



【行事予定】
10/6地区大会ゴルフ開催
（表面に写真掲載あり）
10/12こども応援フェス

その他配布物、行事予定
などたくさんありすぎて
ココには書ききれません

出席報告：石井佳代出席委員長

①会員総数 2025-26年度	②本日の出席 会場+リモート	③メイクアップ カード枚数	④出席数 (②+③)	⑤免除会員数 2025-26年度	⑥免除会員者 当日欠席数	⑦実行数 (①-⑥)	⑧出席率 (④÷⑦)
32	21	0	21	3	2	30	70.00%

【編集後記】 アフガニスタンとパキスタンの2国が現在もポリオの常在国。ワクチンに対する理解不足や長引く内戦、援助を申し出る外国への不信任などが理由で根絶にはまだ時間がかかりそうである。タリバンは12歳以上の女性は教育を受けることを禁じているという。無知なのは国民ではない。過剰なまでに傾倒した思想に縛られた反体制組織にほかない。子供を守り育てることこそが国の繁栄に繋がるなどとは微塵も考えていないらしい。（あ）

会 長：松石 滋樹
幹 事：小宮 泰二
R財団：小宮 泰二
奉仕PJ：横田 松博
親 睦：辻村 浩司
出 席：石井 佳代

会長エレクト：栗原 隆之
クラブ管理運営：栗原 隆之
米山記念：小嶋 敏夫
会員増強：尾崎 康
ロータリー情報：野本 怜子
公共イメージ向上：足立 和徳

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00
例会場：伊勢丹浦和7F クローパールーム
事務局：さいたま市浦和区高砂2-8-4 市川ビル3階
TEL:070-9097-5489
ホームページ <http://urawa-naka-rc.org>
Email urawanakaRC@outlook.jp